

## 11. 新生児のうち、出生時体重が1500g未満の数

### 項目の解説

出生体重が1500g未満の児を極低出生体重児、1000g未満の児を超低出生体重児と言います。

このような新生児の治療には、経験のある医師・看護師と高度な設備が24時間体制で整備され、体温調節、人工呼吸、栄養管理などが行える新生児特定集中治療室(NICU)が必要です。

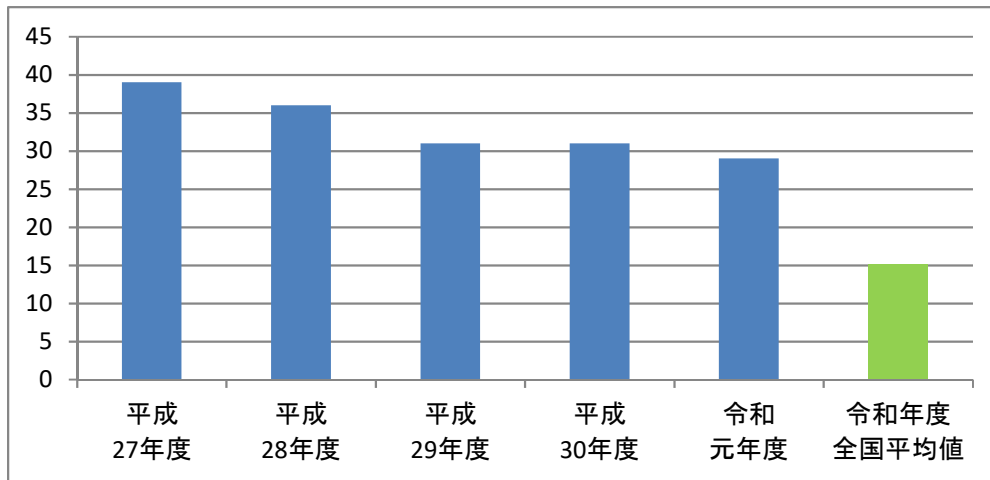
極低出生体重児及び超低出生体重児の数は重症度の高い周産期医療を提供していることを示します。

当院は福岡医療圏における総合周産期母子医療センターであり、NICUが充実していることもあり、重篤な胎児発育不全あるいは双胎妊娠の紹介例が多いことから極低出生体重児及び超低出生体重児の出生数が多くなっています。

また、小児外科疾患、小児心臓疾患、小児脳神経疾患に対応できることから、福岡医療圏外からの紹介例が多いことも一因として挙げられます。

### 当院の実績

平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和年度 全国平均値
39	36	31	31	29	15

(人)

全国平均値は国立大学附属病院の平均値です。

### 定義

自院における出生数です。  
死産は除きます。



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL